



議会だより

発行：八郎潟町議会

編集：議会広報編集委員会

〒018-1692

秋田県南秋田郡八郎潟町字大道80

TEL 018-875-5810



八郎潟中学校 卒業証書授与式

- ◆ 2 ページ 新議員の抱負
- ◆ 3 ページ 臨時会・議会構成
- ◆ 4～10 ページ 一般質問
- ◆ 11 ページ 提出議案
- ◆ 12 ページ 各常任委員会の審議
- ◆ 13 ページ 表彰
- ◆ 14 ページ 請願・陳情／議会のうごき

新議員の 抱負



議長
三戸 留吉

この度の改選で、町民各位から多大な御支援を賜り衷心より感謝申し上げます。尚又、議長の大役を仰せられ責任の重さを痛切に感じております。浅学非才であります。日々努力と対話と行動力をモットーに、安全、安心な町づくり、に町当局と議会の懸け橋として町民に信頼される町政実現の為に誠心誠意頑張ります。



副議長
近藤美喜雄

このたびの改選にあたり、町民の皆様から温かいご支援を賜り心から感謝いたします。住みよい町づくりのため、皆様の負託に応えられるよう、信条である、「議員としての「信頼と責任」そして「誇りの持てる町づくり」に全力を尽くします。昨年三月定例会で、本町議会の指針である「議会基本条例」が制定



村井 剛

されています。より一層開かれた議会運営を目指し決意を新たにしています。今後ともよろしくお願いたします。

◆ 少年・高齢社会の進行と低迷する経済情勢が、今後の町づくりにさまざまな課題を提起する。

◆ ゆえに、町当局はもとより、議会の役割も一層増大する。評論ではなく、地域づくり・町づくりの主体者としての責任が、求められる。

◆ 『百術一誠に如ず』を信条とし、
◆ 『子供には夢を』
◆ 『働き盛りには潤いを』
◆ 『お年寄りには生きがい』
◆ 『求めて誠心誠意努力致します。』



畠山 金美

◆ この度の改選にあたり、議席を与えていただき心から感謝申し上げます。



金 一義

◆ 町が抱える難題山積の解消のため、常に希望をもって、議会がより一層活性化するため精一杯努力してまいりますので、どうかご指導賜りますようお願い申し上げます。

◆ このたび改選にあたり議席を与えていただき、誠にありがたく責任の重さを痛感しております。

◆ わが町も人口減少問題、少年高齢化等、まだまだ大きな問題が山積しております。この難局を、皆様方の代弁者として、「住みよい未来ある八郎潟町」を作るために誠心誠意、初心を忘れることなく一生懸命努力する覚悟です。「一心不生」を心に刻み全力で頑張りますので皆様方のさらなるご指導を宜しく願います。

◆ 皆様からご支援をいただきありがとうございます。



石井 清人

◆ 皆様からご支援をいただきありがとうございます。

◆ 今回の、多くの人と会い、町への期待感、あるいは将来への不安感、苦情、要望など町民の思いをたくさん聞くことができました。

◆ また、空き家、遊休地、道路事情、町施設など普段気にとめなかったことを、つぶさに見る事ができました。町民生活向上のため皆様との対話をもとに当局へさまざまな提言をしてまいります。

◆ 皆様の思いを胸に、精一杯がんばります。



加藤千代美

◆ この度の選挙で町民の皆様より多大なるご支援をいただき町政運営について、議論の場を与えていただいたことに対して深く感謝致します。

◆ 私は、町政とは町民に対して夢を与え、希望を与え、町民の抱えている難題を議会で議論を重ねながら解決に導くのが行政運営のあるべき姿と考えております。

◆ 町民の声を議会に反映させるべく努力致しますので、どうか今後ともよろしく願います。



柳田 裕平

◆ 団塊世代の新人議員です。日常のウォーキングや500歳野球などで体力・気力の維持に努めております。

◆ コンパクトな八郎潟町の特性を生かして、町民の声を行政に忠実に伝え、高齢者から幼児まで、いつまでも健康で元気な町づくりに全力で頑張りますので、今後もしっかりご指導賜りますようお願い申し上げます。



伊藤 秋雄

◆ 議員改選に当たり町民の皆様方のご支援により、4期目の議席を与えていただき、心から感謝申し上げます。

◆ 年々少年高齢化が進むわが町を、元気ある町、ここに生まれここに住んで幸せだと思える町づくりのため、全身全霊、粉骨砕身してまいります。また、足腰の強い行政

議員は「選良」と呼ばれるように、その職務を果たすため多様な研究、経験、専門的な知識の取得に努めなくてはなりません。そして議会の審議



菊地 文人

普通に生活が、どんなに幸福か、それを維持して行く為に常にアンテナを高くする事が必要と思う。美味しい餌が目前に来た時に、これを食べたから、この後どうなるのか、判断する力を学び、是非の態度で望む事が私への責務と思ひ、町民の黒子として、これまでも、これからも邁進を致します。



北嶋 賢子

を作り上げるためにも、町民から信頼される議員として精一杯努力いたします。今後共にご指導ご鞭撻の程、よろしくお願ひします。



伊藤 敦朗

能力・政策立案能力の向上を図り、町当局と良い意味での緊張関係を持つべきと思っております。これからの4年間、皆様方からの御指導・御鞭撻をお願ひ致します。

この度の改選に依り、皆様の御支援を賜わり、責任の重さを痛感しながらも、漸く一步を踏み出すことが出来ましたことに、心より感謝申し上げます。八郎潟町の皆様の持っている人間力、組織力を十分に生かす提案をさせて頂き、定住人口の増加、歴史、文化の継承及び開発、企業家の育成、担い手農業者の育成等に力を注いでいきたいと思ひますので、宜しくお願ひします。



議会構成、各組合議会議員、監査委員など決定

2月25日臨時会が開催され、正副議長の選出、各常任委員会、議会運営委員会、議会広報編集委員会の構成、各組合議会議員の選出、監査委員の選任同意をおこないました。監査委員には伊藤秋雄氏が選任同意されました。

議案第1号 監査委員の選任につき同意を求めることについて
賛成多数可決（反対2 金 一義、加藤千代美）

第1回臨時会
平成25年2月25日

八郎潟町議会構成

平成25年2月25日現在



議長 三戸 留吉
副議長 近藤美喜雄

議席	氏名
1番	村井 剛
2番	畠山 金美
3番	金 一義
4番	石井 清人
5番	加藤千代美
6番	柳田 裕平
7番	伊藤 秋雄
8番	北嶋 賢子
9番	菊地 文人
10番	伊藤 敦朗
11番	近藤美喜雄
12番	三戸 留吉

総務産業常任委員会

- 委員長 伊藤 秋雄
- 副委員長 菊地 文人
- 1 村井 剛
- 2 北嶋 賢子
- 3 伊藤 敦朗
- 4 三戸 留吉

教育民生常任委員会

- 委員長 金 一義
- 副委員長 畠山 金美
- 1 石井 清人
- 2 加藤千代美
- 3 柳田 裕平
- 4 近藤美喜雄

議会運営委員会

- 委員長 村井 剛
- 副委員長 柳田 裕平
- 1 畠山 金美
- 2 菊地 文人

議会広報編集委員会(前期)

- 委員長 石井 清人
- 副委員長 加藤千代美
- 1 金 一義
- 2 伊藤 秋雄
- 3 伊藤 敦朗
- 4 三戸 留吉

議会選出監査委員

伊藤 秋雄

八郎湖周辺清掃事務組合議員

- 1 村井 剛
- 2 石井 清人

八郎潟町・井川町衛生処理施設組合議員

- 1 加藤千代美
- 2 柳田 裕平
- 3 伊藤 敦朗

湖東地区行政一部事務組合議員

- 1 畠山 金美
- 2 金 一義
- 3 菊地 文人

一般質問

学校教育、社会教育 及び産業振興について



加藤千代美
議員

問 この度の選挙期間中に私によせられた声は、この停滞している町をなんとかしてほしいという声が非常に大きかったのであります。

又、一方においては、町の教育はどうなっているのかという声でありました。

特に人を誹謗中傷した文書が、選挙のあることに町の中にはびこる姿は家庭教育を始めとする学校教育、社会教育がすたれた姿に思われたのであります。

これを見た他の市町村住民は、なんとこわい町である。

あんな町の住民になりにたくないという声が、あちらこちらから聞こえて来ています。

さらに昔は、あんな町ではなかった。一番住みたい町であったのにという声であります。

それだけでなくとも人口減少が進んでいる我が町にとって、きわめて憂慮す

べき事態と思います。おもわぬ所から人が住みにくい環境が生まれるとは、やがては産業構造の疲弊に繋がるものだと思います。

私は人として一番大切なことは、人の心のいたみが解る様な道徳心をもった教育が一番大切なことだと考えています。

ちなみに道徳とは、正常な社会生活を保つためにみんなが守らなければならぬことと辞書には書いてあります。

私も教育で人の歩む道は、ルールを守り人間として他人を尊重することであると教わったつもりであります。

しかし、この様な姿が

我が町にあることに対して、町長はじめ教育長は、町の運営、教育のあり方をどの様にとらえて行っているのか。

町長 心の貧しい人はごく一部である。

教育長 学校教育では、教育全体の中で道徳教育を行って行っている。しかし、心の貧しい人については、社会教育講座等の中で、貧しい心を耕していきたい。

問 島山町長が就任してから商工業で破産、廃業した件数は何件か。またこれらの業種に資金手当利子補給等を行ったのか。

町長 税務課、商工会



小学校学習発表会



水耕野菜栽培

で把握している破産件数は3件、廃業した事業所は26件、農業では50件減少している。

制度資金を利用した商工業者は、14件で金額は3千520万円であるが、町では利子補給は行っていない。

農業においては、3件で1千720万円である。利子補給を行っているのは、スーパーL資金で県と町で利率の10分の2を負担している。

問 町長が就任してから誘致した企業はあるのか。

町長 誘致した企業は、1件もない。今後につい

ては、県が行うプレゼンに参加して情報を得る。

問 新規産業について援助する考えはあるのか。

町長 新規産業について援助の手を差しのべることにについては、今後検討したい。

問 TPPについて、国がTPP交渉に参加した場合、町では対策を考えているのか。

町長 食料の安全・安心を基本とした自給率向上と食料の確保は国の責務でありますので、「強い農業生産」の確立が政策に反映されるよう国並びに関係機関に強く要望してまいります。

一 般 質 問

津波安全宣言を



石井 清人
議員

津波安全宣言を

問 東日本大震災ではマグニチュード9.0という我が国最大の地震で、そのため発生した大津波による甚大な被害が発生しております。

昨年末、秋田県地震被害想定調査委員会・津波専門部会が津波の想定をまとめております。それによると本県沖でマグニチュード8.7の連動地震が発生した場合代市や男鹿市、秋田市など沿岸9市町村が浸水するとなっております。幸い八郎潟町は浸水地域にはなっておりません。

しかし、潟上市で津波の最大高11.47メートルとあり、船越防潮水門を越えて八郎湖調整池に流入します。大潟村では周囲の堤防が液状化現象で沈んだ場合、村南部の水田地帯が1メートル程度浸水するとなっております。大潟村はとくに海抜ゼロメートル以下であるので、そのような想定になっていると思われれます。



八郎湖岸

八郎潟町においては、仮に八郎湖漁港のあたりで堤防が破損した場合大潟村同様浸水のおそれどの程度なのか。

あるいはまた地先干拓堤防は強固で破損の恐れがないのであれば津波被害は心配ないということになります。

町民の不安を払しょくし、安心感を持たせるためにも八郎潟町に津波は到達しないと宣言することを提言いたします。

町長 県が調査委員会を設け青森県沖から新潟県北部沖まで調査し8.7を想定して情報提供されている。

防潮水門を越えた津波は東部承水路を上って馬場目大橋（農面道路の赤い橋）まで遡上する。津波高は一部で2メートル未満。馬場目河口、釣り公園、三倉鼻まで2メートル未満と想定される。湖岸堤防の液状化は大潟村のみ想定されている。本町は湖岸水田が一日市

地区で0.7メートル、夜叉袋地区で1.4メートル以上の標高があるので仮に堤防が沈下しても住宅地までは遡上しないと考えている。

しかし津波の影響がまったくないというものでもなく、安全宣言は考えていない。

問 津波がくるという想定であれば、今後八郎潟町防災計画の追加修正があり、津波対策をとることになるが堤防のかさ上げ、避難経路の対策のめどは。

町長 堤防のかさ上げは県との検討が必要になり、町単独は考えていない。大地震が起きたら岸辺に近い農作業、散歩、釣りの人はいち早く逃げることが大切です。

災害時避難所の公表と表示について

問 秋田沖も地震の空白域となっております。国の地震調査委員会の発表によれば今後30年以内に震度6弱以上の地震が発生する確率は7.7パーセントです。そのほか豪雪、水害、大火、竜巻、大規模停電など災害はいつ発生するか予測がつかせません。万一このような災害が発生したとき町民

へどう周知して、どう誘導しどこへ避難させるか大切なことです。東日本大震災のときは地震発生と同時にいち早く避難した人、津波に追われて逃げた人が安全なところに避難しておりません。災害発生やその予兆があれば住民は不安にかられいち早く自主避難をすることもあります。

八郎潟町の防災計画上、避難所はどのようになっているのか質問いたします。

もし、避難所がすでに決まっているのであれば町民への周知が必要だと思います。

また避難所が決まっているのであれば、例えば「ここは災害時の避難場所です」というような表示をすれば、町民はいつでも逃げ込み易いので、そういう対策も考慮することを提言いたします。

町長 大規模地震が起きたときは町の指示がな



防災センター

くても避難場所へ避難することは可能です。しかし小学校体育館など誰かがぎをあげ、安全を確認するか、周知や運営システム化されていないのが現状です。避難所の拠点となる小・中体育館や町・地域住民との検討、避難所運営マニュアルの作成を含め運営できるようにすめる。

地域防災計画の見直しとあわせ、津波想定などの被害状況を確認した上で平成22年に策定した馬場目川の氾濫浸水マップの見直しをして全戸配布に向けて準備している。

今までの避難所、避難場所の標識、津波被害想定、標高、AED設置箇所、大雨農地冠水区域などが災害ハザードマップとなっており、避難所、避難場所表示では防災センターなど一部にある。未設置場所は今後検討していく。

問 家屋の倒壊、破損で住めなくなれば、近所の老人憩いの家、地域の児童館に避難し、町内の協力で炊き出しなどあれば2日、3日あるいは1週間とか過こせるのではないか。

町長 災害時要援護者の避難場所は決まっています。地震がおきれば避難場所に避難し、安全確認して避難所を作ります。これから計画を作ります。

一 般 質 問

商店街の活性化と 除排雪について



柳田 裕平
議員

問 先般、商店街連絡協議会が主催の「商店街活性化について行政との懇談会」では、イベントの必要性・空店舗の活用・買い物代行事業の実施・商店街の除排雪対策など様々な意見の他にも、行政から助成金補助事業の情報が伝わるようにしてもらいたいとの要望もできました。

当町議会でも、この課題についての議論が多々ありましたが、決め手になる具体策を見いだせない状況であります。

私はまず行政と商店街が一体となって、若者の発想で今できることから取り組むことが必要であると考えます。

そこで町長には、商店街連絡協議会と連携してスピード感をもって商店街活性化の具体案を構

築・実施する考えはないでしょうか。

町長 商店街の活性化は大きな問題で、私の公約の一つです。

基本としては、商店街独自の創意工夫で消費者を呼び戻す積極的な取り組みが必要で、足らざるところは、国・県・町などの公的支援で支えなければと考えます。

また、現在計画の中の駅前周辺開発事業とも結びつけていければと思っております。

この後、連絡協議会でも十分協議してもらい、お互いに連絡をとって意見交換を進めながら若い年代の方々とも話し合い、商店街活性化策を見いだしていきたいと考えています。



一日市商店街

問 今年も昨年同様、本町でも大雪で住民生活に多大な影響を与えております。

ここ2、3年の気象状況からすれば今後も同様な傾向になりそうな気配で、高齢化社会に適応した除排雪計画とボランティアも含めた住民自らの奉仕と協力がますます必要とされるのではと考えます。

そこで、毎年の八郎潟町除排雪計画は、いつどのようなメンバー構成で決定されているのか説明を求めます。

住民や高齢者の代表・学校関係・各団体の代表等で構成し、幅広く実情を把握して次年度に向けたやさしい除排雪計画を策定すべきと思いますが、町長の考えはどうか。

町長 町では毎年除雪路線を選定し、建設課職員・委託業者・オペレー

ター7名での除雪会議を開催し、また冬季交通除雪会議と冬季除雪結果検討会議を開催して町内の要望等を総括して次年度の検討事項として意見集約のうえ除排雪を実施しております。

代表者会議については、いろんな問題がありすぎて話が前に進まないことも想定されますので今は考えておりませんが、やさしい除雪は大切だと思えますし、いろんな方々と話し合いながら検討していくことが大事だと考えます。



雪捨て場雪山

一 般 質 問

湖東総合病院と
教育委員会について



伊藤 秋雄
議員

湖東総合病院の
建設と見通し

問 工事について県、厚生連、4町村との運営委員会を開いて説明があったのか。

町長 町長は湖東総合病院のイメージ図を見たのか？ また病院の竣工が26年3月になっているのに、運営委員会の説明がないというのは遅いのではないか。

町長 26年5月のオープンに向けて3者協議の合意のもとで3月末に予定通り。イメージ図は見ている。4町村会議を開いて、積極的に十分に意見を述べている。
問 湖東総合病院の建築費、費用の負担率は、以前23年度開院予定の時は県30%、厚生連50%、

4町村20%と話し合っていたが現在も変わっていないのか。

また、五城目町と本町との負担率は？

町長 4町村20%で変わっていない。五城目町との負担率も変わっていない。

問 今までに運営してきた湖東総合病院の赤字補填については、

厚生連の9つの病院で赤字となっている病院の運営費を市町村で補填しているところはあるのか。また、なぜ湖東総合病院だけ平成30年ごろまで4町村で補填しなければならぬのか。

町長 これまでの累積赤字については補填しない。26年オープン後に生じる赤字は県と4町村で負担することになっている。県2/3、町村1/3で負担する。

問 湖東総合病院が改築建設されるにあたって現在の町道、県道はどのような形になるのか。現在ある道路を車止めせず有効活用できないのか。

町長 道路については平成12年に説明会を開催して異論がなく、公安委員会会で決まったことなので、今、有効活用を言っても難しいと思う。

要望 平成12年頃に県側と地権者で道路地図を見て説明があつたが、あれから、車の量も多くなり、車の流れもだいぶ変わり、朝夕の通勤通学に1分を争って走行しているので、現在の直線道路を廃止することの無いように要望する。

教育委員会と学
校現場での対応
について

問 学校給食の安全、調理現場での管理体制は万全か。

教育長 教育長として現場に指示、相互の連携を図っている。調理場の改修を重点の一つとして老朽化した備品の交換や作業工程の合理化などに21年度から年次計画で800万円かけて調理場の改修に取り組んでいる。

食中毒の対策として、食器等の消毒の徹底、使い捨てビニール手袋の使用など食材処理時の管理を徹底している。

問 本町給食職員のノロウイルスについての対応と意識。また日常の点検票、チェックリストなどの記入はしているのか。

教育長 調理職員、その家族にノロウイルスの疑いがあるときは休んでもらい、嘔吐物の処理の仕方などについては、養護教諭などが中心となつて万全の危機管理体制をとっている。チェックリストは毎日行っている。また25年度は検便にノロウイルス検査に要する費用をプラスして計上している。

問 食物アレルギーをもつ児童生徒を把握し対応しているか。食物アレルギーをもつ児童生徒が安全に学校生活を過ごせるように、学校給食に関する町独自のマニュアルはあるのか。

教育長 アレルギ―調査をした結果は小学校が8名、中学校が5名。初動対応のマニュアルは町独自のものはなく、県からきているものをアレンジして各学校に提供している。



共同調理場（内側）



共同調理場（外側）

一 般 質 問

「あったか灯油券」の配布について



北嶋 賢子
議員

「あったか灯油券」の配布で負担軽減を

問 春まだ浅く、寒い日が続いています。灯油の消費量も増大し、今冬の宅配灯油単価も高騰。「あったか灯油券」の配布で高齢者及び重度障害者世帯等に経済的軽減を。

町長 一般家庭に比べ低所得世帯等については、医療費や介護給付費の限度額の軽減。町税や介護保険料の軽減。総合検診の受診料の無料等、各分野にわたり優遇制度が出されている事から、福祉灯油の支給については今の所、考えていない。

駅前開発構想について

問 駅のそばだと通勤、通学に便利です。ビルにして、上層階を町営マンションにした方が、直売所の固定客にもなるし、高速道路アクセスからの立寄り客もあると思うが。

町長 町民の意見を反映させるために、関係する団体の代表者34名を委嘱2月20日、素案策定検討会を開いた。今後各分野会議を開催し、意見を集約、プログラムの素案



ホームタンク



ポリタンク

農業、漁業の振興について

に反映していきたい。図書館をメインとした多目的施設、イベント広場、直売施設となっており、多目的施設は、秋田県産の木材を使用した施設を検討している。

問 TPPによる大きなダメージが目前に迫っています。今、農業の大きな利点は、放射能の心配のない農産物を作れる事。何よりも、こども達に安心安全な野菜の供給が出来ている事。原発事

故以来、都会のおかあさん達から秋田の野菜を見直されてます。漁業については、秋田県が試験的に八郎湖の一部分に海水を入れ、シジミ貝の放流を考えています。長年研究を重ねて来られた県立大学の先生達の成果です。

町長 生産者の顔の見える直売所は、消費者にとっても大事かと思う。農家の所得向上に結びつけていくためにも、県、農協と連携しながら、畑

作物の生産拡大に努めた。

漁業振興のシジミ漁については、かつて台風の影響で約10億円を超える産業となった時もあった。現在は900kg。シジミ漁については今後も厳しいものと思う。

湖東総合病院の救急受け入れ体制について

問 私共のくらしのアンケートの中で1位から5位までが、医療等の問題要望でした。湖東総合病院の救急受け入れ体制の確立がだんとうでした。

町長 平成26年5月のリニューアルオープンを確認にする事が最優先。その段階で医師確保の状況に応じて可能な範囲で、一定の救急機能を回復させる、という柔軟な考え方が現実的と思う。

一 般 質 問

地域のインフラ整備について



近藤美喜雄
議員

地域のインフラ 再点検補修の 実施を

問 地域要望による道路水路などで、未解決のものとはどれ位あるか。前に施工されたものでも、年月が経過すれば機能しなくなったり、うまく働いていない場合などがある、全町内を再調査すべきでないか。

町長 軽易なものは町単で対応している。事業費の大きいと予想されるものについては、補助対応でできるか調査しながら、年次計画で実施している。現在要望され未解決のものは5件ある。順次実施するようにする。新たな要望調査は考えていない。

町指定有形文化 財に支援の手を

問 地域社会の営みの中で、神社などの存在は大きい。

町 町の指定を受けている、歴史建造物としての神社の管理及び補修などについて、どのように状況を把握しているか。国、県、町指定有形文化財も基本的には所有者が指定先の確認を得て補修あるいは維持、管理にあたるよう義務付けられていますが、しかし、どこの場合もその財源に困っているのが現状です。

町 町文化財保護条例によって、今後町が支援し、建物の保存、継承にあたるべきだと思いが。

教育長 定期的見回りはしていないが、22年6月と24年6月、委員会として状況確認している。今後、所有者が指定文化財保存のため、管理及び修理などで必要のある場合は、申し出に応じて十分協議していく。



真坂・八幡神社



夜又袋・諏訪神社

地域の助けあいで 高齢家庭などの 除排雪を

問 高齢者や、婦女子家庭などは毎日の家の前の除雪作業が大変困難である。町内の個人所有のトラクター、小型除雪機を活用し、あまり公助に

頼らない、地域の中での助けあいのシステムを町内につくれないか。町が実績を踏まえ、町内に支援、町内が実働者に応分の謝礼をする方法など。

町長 現状では一人暮らし高齢者、低所得高齢者などには、個人的に周りから協力してもらっている場合とか、社協からの支援など公助に頼らなければならぬ世帯もある。比較的所得のある世帯については、シルバー人材センターを紹介している。これらの状況を踏まえ、町では今後、屋根の雪降しを含めた25年度の除排雪支援について検討したい。

国際交流の推進 を町の活性化方 策に

問 地域住民と外国人による異文化交流が盛んに行なわれるようになってきた。このような状況を踏まえ、本町においても、国際交流を積極的に推進し、あるいはまた、

教育、文化、スポーツも総動員しながら、交流人口、滞在人口の増加に努め、雇用、地場産物の消費拡大、宿泊客の増加なども見込んだ新たな活性化方策を定め、町の活性化、商店街の活性化をはかるべきだと考えます。18年3月及び21年3月定例会でも関連した内容の質問をしています。

成果をあげるためには、予算も専門に取り組む職員も必要となります。場合によっては、工場誘致にける自治体の構えと似ているかもしれません。

町長 国際交流と言う短期的な集客や経済効果を問われると説明に困る。予算編成でも納税者に納得してもらえるかどうか。交流と言う事業目的と成果、結果の説明が求められる。当面は必要な人材の育成、確保にとめたい。

一 般 質 問

八郎潟町社会福祉協議会について



金 一義
議員

問 社会福祉協議会は、町民からの寄付金、行政からの補助金等の支援で、地域の人々が住みなれた町で高齢者や障害者の在宅生活を支援するために様々な福祉サービスにこたえており、多様な福祉ニーズにもこたえております。町からの委託事業にも取り組んでおられることも承知しております。

23年度決算書を参考に質問します。

(1) 介護保険の収入が会の一番大きな収入源としておりますが、訪問介護事業、訪問入浴介護事業、居宅介護事業、通所介護事業等、介護保険の減収が多すぎます。

千345円の収入で、23年度の決算では8千83万9千903円と、この差がマイナス831万4千442円とあります。この23年度における減収の原因は何か、また今後の改善策をどのように考えておりますか。

(2) 地域福祉協力員人材の成果と今後の取り組みは。

(3) 23年度の決算書により経営活動全体に占める支出の人件費の割合が68・3%とあります。適正の範囲であるか。

(4) 会長報酬月額7万円とありますがその根拠と、報酬を日額にする考えはないか。

(5) 協議会全体の職員数は適当な人員か、多すぎるのと町民の指摘がありますか。

23年度決算の介護保険収入をみますと、22年度が8千915万4

町長 近隣に多様なニーズの施設が出来、町民の協議会の利用者の減少が原因である。協議会としても今後いろんな方策を考え万全の方法をとっていきます。

町長 現在37名の職員数であり適当である。

町長 今後の方針を定めるためのプロジェクトチームを立ち上げます。

町長 県で行っております能力開発研修にのべ53人の職員が参加しており、町独自でも講師を呼んで挨拶等の講習をしている。

役場庁舎の耐震結果に対する今後の取り組みは

職員の能力開発について

町道一級天道田梨ノ木線地域の防雪柵設置の進展は

町長 高齢者が地域のなかで安心して暮らして行けるための事業を押し進めていく。

町長 県でも、今後起りうる地震の震度の大きさを示し県民に防災の在り方を喚起しております。町も、役場庁舎の耐震結果を踏まえ、いざ非常時の際には町民の避難場所や、指揮発動の場所としても鑑み庁舎の改善に早急に対処する必要があります。と思います。

町長 県で行っております能力開発研修にのべ53人の職員が参加しており、町独自でも講師を呼んで挨拶等の講習をしている。

町長 県で行っております能力開発研修にのべ53人の職員が参加しており、町独自でも講師を呼んで挨拶等の講習をしている。

町長 昨年3月議会でも質問しました浦大町地域のこの路線は、この冬も地吹雪による吹き溜まりが出来、車の通行が出来ない時が何度かあり危険な状態であります。早く改善が必要です。

町長 近隣町村と比較して適正である。

町長 現在37名の職員数であり適当である。

町長 今後の方針を定めるためのプロジェクトチームを立ち上げます。

町長 県で行っております能力開発研修にのべ53人の職員が参加しており、町独自でも講師を呼んで挨拶等の講習をしている。

町長 新規事業として、社会資本整備総合交付金事業で、とりあえず60メートル防雪柵を設置の予定であります。



役場庁舎

平成25年 八郎潟町議会 3月定例会提出議案

議案番号	審 議 案 件	結 果
議案第2号	平成24年度八郎潟町一般会計補正予算（第7号）について	全員賛成可決
3号	平成24年度八郎潟町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について	全員賛成可決
4号	平成24年度八郎潟町公共下水道事業特別会計への繰り入れの補正について	全員賛成可決
5号	平成24年度八郎潟町公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）について	全員賛成可決
6号	平成24年度八郎潟町農業集落排水事業特別会計への繰り入れの補正について	全員賛成可決
7号	平成24年度八郎潟町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）について	全員賛成可決
8号	平成24年度八郎潟町介護保険特別会計補正予算（第4号）について	全員賛成可決
9号	平成24年度八郎潟町上水道特別会計補正予算（第3号）について	全員賛成可決
10号	八郎潟町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
11号	八郎潟町立幼稚園預かり保育料徴収条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
12号	八郎潟町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
13号	八郎潟町中小企業振興融資斡旋に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
14号	八郎潟町営住宅条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
15号	八郎潟町下水道条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
16号	八郎潟町生活交通バス運行条例の制定について	全員賛成可決
17号	八郎潟町環境基本条例の制定について	修正案を 全員賛成可決
18号	八郎潟町新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について	全員賛成可決
19号	八郎潟町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の制定について	全員賛成可決
20号	八郎潟町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定について	全員賛成可決
21号	八郎潟町町道の構造の技術的基準等を定める条例の制定について	全員賛成可決
22号	八郎潟町町営住宅及び共同施設の整備基準を定める条例の制定について	全員賛成可決
23号	八郎潟町都市公園の設置に関する基準等を定める条例の制定について	全員賛成可決
24号	八郎潟町布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の制定について	全員賛成可決
25号	秋田県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更の訂正について	全員賛成可決
26号	平成25年度八郎潟町一般会計予算について	賛成多数可決 (反対1北嶋賢子)
27号	平成25年度八郎潟町国民健康保険特別会計予算について	全員賛成可決
28号	平成25年度八郎潟町後期高齢者医療特別会計予算について	全員賛成可決
29号	平成25年度八郎潟町公共下水道事業特別会計への繰り入れについて	全員賛成可決
30号	平成25年度八郎潟町公共下水道事業特別会計予算について	全員賛成可決
31号	平成25年度八郎潟町農業集落排水事業特別会計への繰り入れについて	全員賛成可決
32号	平成25年度八郎潟町農業集落排水事業特別会計予算について	全員賛成可決
33号	平成25年度八郎潟町介護保険特別会計予算について	全員賛成可決
34号	平成25年度八郎潟町上水道特別会計予算について	全員賛成可決
35号	八郎潟町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて(櫻庭正男氏)	賛成多数可決 (反対3金一義、加藤千代美、伊藤秋雄)
36号	湖東地区行政一部事務組合議会議員の選任につき同意を求めることについて(齊藤和雄氏)	全員賛成可決
37号	八郎潟町副町長の選任につき同意を求めることについて(智田邦英氏)	全員賛成可決
選挙第4号	秋田県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について	畠山菊夫町長 を 選 出

各常任委員会の審議

総務産業 常任委員会

◆平成24年度 補正予算関係

問 県営造成施設突発事
故復旧支援事業負担金に
ついて。

答 この事業については
県のほうで30%負担して
いるが、町ではガイドラ
インにのっとって10%負
担することにしたという
ことであり、戸村土地改
良区からも要望があれば
対応はしていく。

また、全体的に施設の
老朽化が進んでいること
から、八郎潟土地改良区
に対しては緊急に全体的
な施設整備計画を立てな
がら取り組んでほしいと
話している。

問 社会資本整備総合交
付金事業備品購入費3千

200万円の補正につい
て。

答 以前、国庫補助で購
入したものが、購入から
15年以上経過しているこ
とから、除雪ドーザーを
2台新しいものに買い替
える。

◆条例、平成25年度 当初予算関係

問 八郎潟町中小企業振
興融資幹旋に関する条例
の一部を改正する条例に
ついて。

答 町内で事業を営むも
のの資金調達を円滑に
し、企業の安定並びに業
界の振興発展を図るため
融資幹旋の最高限度額を
700万円から1千万円
に引き上げるものであり
ます。

問 町村電算システム共
同事業に関連して、本町
では、平成26年10月から
加入するのか、加入した

場合にとのくらの経費
が削減されるのか。

答 本格的には平成26年
10月の加入になるが、税
務関係の5システムに関
しては、平成25年度中の
加入を検討している。平
成23年度では電算システ
ムに9千万円程度かかっ
ているが、共同化するこ
とにより、10%以上削減
することとしているの
で、1千万円程度は削減
できるものと考えている。

問 税の滞納繰越分の規
模と対策について。

答 平成23年度決算で
は、過去5年分の未納調
定額に対し、町民税の場
合が22年度までの分13
0万円の納付があり、調
定額に対して7.54%、
固定資産税については2
58万円の納付で9.51%、
軽自動車税につい
ては15万円の納付で17.82%
の収納率となっており、
5年経過の時効を含ま

めた不納欠損額は総額で
915万円あります。

督促状を発行してもな
お納入がない場合は、税
負担の公平性を確保する
観点から、数回の催告状
の発行や電話連絡を徹底
していきたい。

問 町営住宅滞納者数、
滞納額並びに滞納対策に
ついて。

答 滞納者数は平成23年
度には18人おり、全体で
は25人、滞納額について
は23年度分は138万8
千280円、全体で52
7万9千335円であり
ます。滞納対策について
は平成25年度で家賃滞納
整理事務処理要綱づくり
を整備し、滞納整理のた
めの準備を進めていきたく
い。

問 デステイネーション
キャンペーンに係わるPR
について。

答 昨年のデステイネー
ションキャンペーン期間
中にSLが運行された
際、八郎潟駅の停車時間
中に願人踊の公演等を行
い、大変好評だった。ま



た、東北観光博のホーム
ページに盆踊り、願人踊、
浦城等を掲載してもらっ
ている。今年も、色々な
観光イベントが行われる
と思うので、要請があれ
ば積極的に参加し、町を
PRしたい。

要望・意見

TPPに對
する稲作の対応策とし
て、栽培のコストダウン
を図れる直播き栽培が有
効だと考える。現在取り
組んでいる農家の技術的
なノウハウの継承を含め
て推進していただきたい。
また、直播き栽培を

推進していく上で、直播
き栽培に適した除草剤の
開発が必要不可欠と考え
るので、その開発につい
て、国や県に働きかけて
いく必要がある。

うたせ館について、来
館者が非常に少ない状況
が続いていることから、
4月以降も休館とする旨
の報告がありました。

委員からは、湖岸の桜
の木も大きくなってきて
おり、今後、花見の観光
客の増加も考えられる。
駅前開発とあわせて、
うたせ館を有効に活用で
きるようにしてほしい。

教育民生 常任委員会

問 学校給食での食材放射能検査は、どのような範囲で検査しているのか。

また定期的検査をしているのか。

答 検査は子供たちに提供する二日前に行う。基本的には月1回で県の検査器を持ち込んでいますが、今のところ検出されたことはない。

問 アメシロの薬をスミチオンに変えた理由と、生態系について調査した情報はないのか。

答 昨年の町内会長会議で、同じ薬を続け続けていると効かなくなってくるのではないかと意見が出され、効果の見込める薬剤を選んでいる。

問 学校の燃料費だが、幼・小・中とも授業日数が決まっているのに小学校の燃料費が突出している理由は。

答 1時間くらい早く点火しているなど使用時間が長いのと、機械が古くなって燃焼効率が悪くなっているため。

問 改善センターの修繕費が減額されているが、その理由と構造上での安全性の問題はないのか。

答 冷房装置の重要な部品でチラーユニットというが、部品が製造中止になっている事で、代替品も探したがなかった。すぐ壊れるわけではないが不安はある。

問 学校の乱れの原因として師弟関係がはつきり



しないことがある。卒業式には感謝の意味をこめて「仰げば尊し」を歌うべきと思うが。

答 子供たちのニーズもあり、別れにはどのような曲がいいのか学校で決めている。「仰げば尊し」はいい歌だが、昔の感覚が強く、取り入れている学校も数校だと思う。

問 卒業式や入学式、又は祝日に国旗の掲揚が見当たらない。日本国家としてみた場合必要と思うか。

答 国旗に関しては、どのような式でも掲げるといふのは当たり前のことである。掲揚されていないとすれば直していかなければならない。

問 小中一貫教育をめざしているが、幼、小、中一貫教育を望む。語学に対し世界に通じる子供たちを育てなければならぬ。英語でとびぬけた学校をつくるのもいいのではないか。

答 本町は一貫教育とう

たわなくても、幼、保、小、中を含め現在行っている。子ども子育て3法が発令されたので、保育園側とも話し合い、幼児教育についても進めていく。英語教育では、小学5・6年生に外国語活動も入ってきている。小学校で興味を持たせ、中学校の学習活動につなげていきたい。

問 公民館事業も高齢化が進み、40代・50代の方の姿が見られないが、10年後の社会教育の姿をどのようにイメージしているか。

答 現在貢献してくれている方も、10年後には一線を退いていると思う。今のように精力的に頑張る人は減っていくと思われるので、学校教育と同じ状況である。積極的に若い人を引き入れていきたいと思う。

◎全国町村議会議長表彰

(議員15年)

村井 剛 議員

◎秋田県町村議会議長表彰

(議員11年)

三 戸 留 吉 議員
金 伊 藤 一 秋 議員
伊 藤 雄 議員

◎全国町村議会表彰

八郎瀧町議会

議会の活性化及び
議会基本条例の制定

■ 請願・陳情

受理番号	件名	住所	氏名	件名	本会議結果
1	陳情	秋田市	秋田県学校薬剤師会 会長 佐々木 吉 幸 秋田中央学校薬剤師会 会長 近 藤 廣 樹	学校薬剤師報酬改善に関する陳情書	不採択
2	陳情	秋田市	秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 中 村 秀 也 秋田県労働組合総連合 議長 佐々木 章	最低賃金の大幅引き上げと、中小零細企業支援の拡充を求める陳情書	採 択
3	陳情	八郎潟町	全日本年金者組合秋田県本部湖東支部 支部長 土 橋 茂	年金2.5%の削減中止を求める陳情	採 択



議会のうごき

1月

- 4日 消防出初式
- 9日 湖東3町商工会新春賀詞交歓会
- 10日 議会全員協議会
- 16日 例月出納検査（監査委員）
- 18日 南秋田郡町村議会議長連絡協議会
- 22日 町議会議員選挙告示日
- 27日 町議会議員選挙投票日

2月

- 2日 合同厄払い還暦祝い
- 9日 八郎潟町体育協会スポーツ賞授与式
- 14日 後期高齢者医療広域連合議会定例会
- 15日 秋田県町村議会議長会自治功労者表彰式
- 18日 例月出納検査（監査委員）
- 25日 臨時議会

3月

- 5日 議会運営委員会
- 5日 議会広報編集委員会
- 7日 八郎潟中学校卒業式
- 11日 議会定例会（21日まで）
- 14日 八郎潟幼稚園卒園式
- 15日 八郎潟小学校卒業式
- 19日 湖東総合病院運営委員会
- 22日 八郎湖周辺清掃事務組合議会
- 22日 例月出納検査（監査委員）
- 23日 八郎潟保育園卒園式
- 25日 湖東地区行政一部事務組合議会
- 26日 議会広報編集委員会
- 26日 八郎潟町・井川町衛生処理施設組合議会
- 26日 南秋田郡町村議会議長連絡協議会
- 27日 町村電算システム共同事業組合設立説明会



編集後記

「冬来たりなば春遠からじ」と言つ。長く厳しい冬を抜けて春が心底うれしいです。受験生にとつてはつらい日々を耐えて、合格の喜びはひとしおでしょう。長い下積みや苦勞のあとに花開く。まさに人生ですね。

4年に一度の議会議員選挙が過日行われました。改選後あたらしい議会広報編集委員が決まりました。前期2年間よろしく願いました。

議会広報は町民と議会を結ぶ架け橋です。議会全体の活動や議員個々の主張など、しっかりと伝えていかなければなりません。そのことよって議会に対する町民の信頼も増すことだと思います。

つたない編集委員長ですが、委員みなさんの意見をくみいれながら、議会基本条例にある町民に身近な議会及び議員の活動の活性化と充実のために一生懸命頑張りますのでよろしく願います。

(きよと)

◆議会広報編集委員会

- 委員長 石井 清人
- 副委員長 加藤 千代美
- 委員 伊藤 一 雄
- 委員 伊藤 秋 義
- 委員 三戸 留吉